

認定看護師レター



認定看護師室 2016年 2月 18日発行 vol. 33

呼吸副雑音について

日頃、患者さんの呼吸音を確認した時に患者さんによって副雑音が違うことは、よく経験することだと思います。そこで、副雑音の違いが意味することとその対応や注意点について、改めてお知らせしたいと思います。

分類	特徴	原因	対応
捻髪音	パリパリ チリチリ	肺胞の弾性 伸縮低下	気胸の併発に注意が必要 (特に NPPV 等の陽圧換気中)
水泡音	ブクブク ポコポコ	分泌物の貯留	・肺胞に貯留している分泌物の除去が必要 → 体位ドレナージ ・肺水腫や胸水の場合は、安楽な体位の調整を行う
いびき音	ウーウー ゴロゴロ	太い気管支の狭窄	・分泌物貯留であれば、体位ドレナージや吸引で狭窄を解除させる ・笛音への移行等、音の変化に注意する
笛音	キュー ピー	高度な気管支の狭窄	さらに狭窄が高度になると、音が消失するため呼吸音の変化に注意する
stridor	吸気時の狭窄音	上気道閉塞	窒息の危険性があるため、直ちに閉塞の解除・気道確保が必要

呼吸音の特徴を記載していますが、実際に聞き分けることは容易ではありません。最初は、副雑音が聴取された時に患者さんの診断名や病態と照らし合わせて、何の副雑音か考えてみてください。これを繰り返し行っていくことで、呼吸音を聴取するだけで、患者さんの病態が分かるようになってきます！まずは、聴診器を患者さんに当ててみましょう。

担当：集中ケア認定看護師 濱田 悦子

お知らせ

脳卒中リハビリテーション看護（佐竹）と慢性呼吸器疾患看護（木村）2分野の教育課程の研修が、終了しました。現在、認定看護師の資格取得に向けて、日々奮闘中ですが、今後ご活用ください！！

